

就任のごあいさつ

5月23日付けで石橋輝一神崎町長が就任されました。



神崎町長

石橋 輝 一

5月の神崎町長選挙において、無投票で4期目の町政運営を担わせていただくことになりました。

就任以来「最小の経費で最大の効果」を基本姿勢として、行財政改革や職員の意識改革を行い、経費の節減に努め、町の平成27年度末の地方債残高（借金）は、国の交付税補填のある臨時財政対策債を除くと7億2千万円であり、これに対し一般財政調整基金（貯金）は、11億7千万円となっております。町財政も健全化の方向へ一歩一歩前進・改善されており、今後も堅実な財政運営に努めてまいります。

私はこのたびの就任に当たり「夢・希望・活力・輝く町づくり」をテーマに、少子高齢化対策や産業振興、道路整備事業等に取り組みむ決意であります。その主な施策について申し上げます。

①子育て支援

高齢者対策の推進

近年の少子高齢化現象は神崎町においても例外ではなく、この対策は極めて重要であり、次の取り組みを実施します。子育て支援として、出生時及び小学校入学時に給付金を支給、保育園児の給食費相当額を全額助成、18歳未満の児童を3人以上扶養している世帯の第3子以降の児童について保育料の無料化、小中学校児童生徒の給食費の半額助成を実施します。

また高齢者支援として、年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給、インフルエンザ・肺炎球菌ワクチン予防接種費用の助成、福祉タクシー等の利用助成を実施します。

②産業振興と

発酵の里づくりの推進

農業が基幹の町として、担い手支援や地域営農組織の育成に努め、農地の集積、集約化を支援します。また道の駅「発酵の里こうざき」を農業・商業・観光の拠点として地域資源活用による発酵の里にちなんだ新商品の開発や、出品生産者の育成を図るとともに、町民の皆様や観光客の方に喜ばれるよう施設の充実を図り、併せて災害時の避難場所として活用してまいります。

道の駅施設を核とした圏央道神崎IC周辺整備については、道の駅に隣接される形での圏央道パーキングの整備を引き続き国に対して要望し、ハイウェイオアシスとしての道の駅周辺整備を進めてまいります。

③道路整備事業等の推進

道路整備については地域の活性化と交通安全対策として極めて重要であります。成田神崎線道路改良事業や新町松崎線道路改良事業を推進するとともに、道路パト

ロールを強化し、交通安全対策上支障がないように維持管理に努めてまいります。

また銚子から東京駅・浜松町間の高速バスが道の駅に乗り入れたことから都心と本町を結ぶ新たな交通網が整備されましたが、町では今後も利用者の利便性向上のために対策を講じてまいります。

結びになりますが、町民の皆様が安全で安心して暮らせる町づくりを目指して参りますので、皆様方のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。



職員へ訓示を述べる石橋町長